

平野敏彦 先生の略歴および業績

1952年 9月 7日 兵庫県尼崎市に生まれる。

〈学 歴〉

1971年 3月 兵庫県立尼崎北高等学校卒業
 1972年 4月 京都大学法学部入学
 1976年 3月 同 卒業（京都大学法学士）
 1976年 4月 京都大学大学院法学研究科修士課程（基礎法学専攻）入学
 1978年 3月 同 修士課程修了（京都大学法学修士）
 1978年 4月 京都大学大学院法学研究科博士後期課程（基礎法学専攻）進学
 1981年 3月 同 博士後期課程 単位取得退学

〈職 歴〉

1981年 4月 広島大学 助教授 法学部
 1992年 4月 広島大学 教授 法学部
 1992年 8月 文部省在外研究員としてドイツ・チュービンゲン大学で
 在外研究（～1993年 6月）
 2003年11月 日本法哲学会理事（～2011年11月）
 2003年 4月 広島大学広報委員会委員長（～2004年 3月。2002年度・
 2004年度は副委員長）
 2004年 4月 広島大学 教授 大学院法務研究科（法科大学院）
 広島大学大学院法務研究科副研究科長（～2008年 3月）
 2005年 4月 放送大学広島学習センター客員教授（～2008年 3月）
 2005年10月 日本学術会議連携会員（第20期）（法学委員会）（～2008
 年 9月）

2006年 8月	独立行政法人大学入試センター客員教授（法科大学院適性試験問題作成研究会）（～2008年 7月）
2008年 4月	広島大学大学院法務研究科長（～2010年 3月）
2008年 4月	中央教育審議会専門委員（大学分科会法科大学院特別委員会第 1 WG委員）（2010年 3月まで）
2008年10月	日本学術会議連携会員（第21期）（法学委員会）（～2011年 9月）
2011年10月	日本学術会議連携会員（第22期）（法学委員会）（～2014年 9月）
2013年 4月	放送大学広島学習センター客員教授（～2018年 3月）
2014年10月	日本学術会議連携会員（第23期）（法学委員会）（～2017年 9月）
2017年10月	日本学術会議連携会員（第24期）（法学委員会）（～2020年 9月）
2018年 3月	広島大学定年退職

郵政研修所，税務大学校，国土交通省中国整備局，広島県看護教員養成講習会にて，研修講師を務める。

平野敏彦 先生の研究業績

〈著 書〉

- ・『現代法哲学：第2巻 法思想』（長尾龍一・田中成明編：東京大学出版会，1983年11月）《共著》
- ・アルトゥール・カウフマン『法哲学と刑法学の根本問題』（宮澤浩一監訳：成文堂，1986年3月）《共著》
- ・『ドイツ近代の意識と社会 —法学的・文学的ゲルマニスティクのアンビヴァレンツ—』（河上倫逸編：ミネルヴァ書房，1987年4月）《共著》
- ・E・カメンカ/A・イアースーン・テイ編『正義論』（田中成明・深田三徳監訳：未来社，1989年5月）《共著》
- ・フリチョフ・ハフト『レトリック流法律学習法』（木鐸社，1992年10月）《単独訳》
- ・『マルチ・リーガル・カルチャー』（竹下賢・角田猛之編著：晃洋書房，1998年5月）《共著》
- ・『法思想の伝統と現在』（三島淑臣教授退官記念論集編集委員会編：1998年11月，九州大学出版会）《共著》
- ・『埋もれていた術・レトリック』（植松秀雄編：木鐸社，1998年12月）《共著》
- ・ウィル・キムリッカ『多文化時代の市民権 —マイノリティの権利と自由主義—』（角田猛之・石山文彦・山崎康仕監訳：晃洋書房，1998年12月）《共著》
- ・『掘り出された術・レトリック』（植松秀雄編：木鐸社，1999年3月）《共著》
- ・『トピック法思想 —羅針盤としての歴史—』（竹下賢・平野敏彦・角田猛之編著：法律文化社，2000年5月）《共著》
- ・『入門法学 —現代社会に生きる法—』（竹下賢・沼口智則・角田猛之編：晃洋書房，2002年5月）《共著》
- ・『改訂版 入門法学 —現代社会に生きる法—』（竹下賢・沼口智則・角田

猛之・竹村和也編：晃洋書房，2005年4月）《共著》

・『レトリック論を学ぶ人のために』（菅野盾樹編：世界思想社，2007年6月）
《共著》

・『法理論をめぐる現代的諸問題 ―法・道徳・文化の重層性―』（角田猛之・市原靖久・亀本洋編著：晃洋書房，2016年9月）《共著》

〈論 文〉

1980年（昭和55年）

・ドイツ自由法運動の生成と展開 ―H. カントロヴィッツを中心として― (1)
……『法学論叢』106巻4号（1980年1月）

・ドイツ自由法運動の生成と展開 ―H. カントロヴィッツを中心として― (2)
……『法学論叢』106巻6号（1980年3月）

・ドイツ自由法運動の生成と展開 ―H. カントロヴィッツを中心として― (3)
……『法学論叢』107巻2号（1980年5月）

・ドイツ自由法運動の生成と展開 ―H. カントロヴィッツを中心として― (4)
……『法学論叢』107巻5号（1980年8月）

・ドイツ自由法運動の生成と展開 ―H. カントロヴィッツを中心として― (5・完)
……『法学論叢』107巻6号（1980年9月）

1981年（昭和56年）

・Legal History ― Die europäische Rechtsgeschichte 《独文；上山安敏と共同執筆》
……『The Japan Annual of Law and Politics』No.2（日本学術会議，1981年）

1982年（昭和57年）

・〈訳〉マンフレート・レービンダー「いわゆる法感情についての，法学者
から隣接諸科学への質問」

……『民商法雑誌』86巻5号（1982年8月）

1983年（昭和58年）

・自由法運動

……『現代法哲学：第2巻 法思想』（東京大学出版会，1983年11月）所収

1984年（昭和59年）

・実社会と法学教育（2）—その問題と展望—

……『判例時報』1118号（1984年8月）

・〈訳〉アルトゥール・カウフマン「正義と平和」

……『法の理論』4号（成文堂，1984年11月）

1986年（昭和61年）

・〈訳〉アルトゥール・カウフマン「正義と平和」《1984年稿の改訳》

……『法哲学と刑法学の根本問題』（成文堂，1986年3月）所収

・〈訳〉ゲルハルト・リース「西ドイツにおける法学教育」

……『広島法学』9巻4号（1986年3月）

・〈訳〉マンフレート・レービンダー「共同社会感情としての法感情」

……『広島法学』10巻1・2号（1986年8月）

1987年（昭和62年）

・法律学における構造思考と通常事例方法 —F.ハフトの法律学的レトリクから—

……『広島法学』10巻4号（1987年3月）

・〈訳〉ローラント・バル「ヨーロッパの立場から見た日本の法継受 —
和魂洋才，再検討の鍵と尺度—」

……『ドイツ近代の意識と社会 —法学的・文学的ゲルマニスティク
のアンビヴァレンツ—』（ミネルヴァ書房，1987年4月）所収

・法適用と法律学

……『法哲学年報 1986』（有斐閣，1987年10月）

1988年（昭和63年）

- ・ <書評> 広渡清吾著『法律からの自由と逃避 ―ヴァイマル共和制下の私法学―』（日本評論社，1986年）
……『法制史研究』第37号（1988年3月）

1989年（平成元年）

- ・ <書評> James E. Herget & Stephen Wallace, The German Free Law Movement as the Source of American Legal Realism, 73 Va.L.Rev. 399-455 (1987)
……『アメリカ法』1988年2号（1989年3月）
- ・ <訳> ジュリアス・ストーン 「正義は平等に非ず」
……『正義論』（未来社，1989年5月）所収

1992年（平成4年）

- ・ レトリック研究の予備知識
……『広島法学』15巻3号（1992年1月）
- ・ キケロ『発見・構想論』におけるレトリックの構想
……『広島法学』16巻1号（1992年4月）

1995年（平成7年）

- ・ <訳> エリック・ヒルゲンドルフ 「『法律学的レトリック』は何をできるか」
……『広島法学』19巻1号（1995年7月）213-224

1997年（平成9年）

- ・ <講演> Über die Verhandlungskultur in Japan [日本における交渉文化について] 《独文》
……Internationale Fachtagung in Tübingen 1997.4.25. （チュービンゲン大学・ドイツ弁護士連合会共催の国際シンポジウム）

・「キケロ・ホームページ」開設

……<http://home.hiroshima-u.ac.jp/hirano/cicero/cic-home.htm>

1998年（平成10年）

・法と言葉をめぐる法文化

……『マルチ・リーガル・カルチャー』（晃洋書房，1998年5月）所収

・法学教育と実践知

……『法思想の伝統と現在』（1998年11月，九州大学出版会）所収

・キケロ『トピカ』についての覚書 —ローマにおける弁論家と法学者—

……『埋もれていた術・レトリック』植松秀雄編（木鐸社，1998年12月）所収

・〈訳〉ウィル・キムリッカ「正義とマイノリティの権利」

……『多文化時代の市民権 —マイノリティの権利と自由主義—』（晃洋書房，1998年12月）所収

1999年（平成11年）

・〈訳〉エリック・ヒルゲンドルフ「『法的レトリック』には何ができるか？」
《1995年稿の改訳》

……『掘り出された術・レトリック』（木鐸社，1999年3月）所収

・キケローのチチェローネ

……『キケロー選集 第9巻』月報4（岩波書店，1999年12月）

2000年（平成12年）

・これまでの法学教育 —現状分析とその対応— <基調報告>

……『法律時報』増刊「シリーズ司法改革Ⅰ 法曹養成 ロー・スクール構想」（日本評論社，2000年4月）

・古代弁論術 《同書の人名辞典も単独執筆》

……『トピック法思想 —羅針盤としての歴史—』（法律文化社，2000年5月）所収

2002年（平成14年）

・ 裁判のしくみ

……『入門法学 ―現代社会に生きる法―』（晃洋書房，2002年5月）所収

2003年（平成15年）

・ 国立大学法人法の基礎知識

……『広大フォーラム』No.378（2003年10月）

2005年（平成17年）

・ 裁判と裁判所へのアプローチ ―しくみと手続― 《2002年版を改稿》

……『改訂版 入門法学 ―現代社会に生きる法―』（晃洋書房，2005年4月）所収

2007年（平成19年）

・ ライプツィヒ大学法学部訪問

……『ドイツにおける法曹養成制度改革の実情に関する調査報告書 2』（平成16年度・17年度・18年度 大学改革推進事業 法科大学院等専門職大学院形成支援・教育推進プログラム）10大学共同「実務基礎教育の在り方に関する調査研究」プロジェクト，2007年3月）

・ 弁論術としてのレトリック ―法学からのアプローチ―

……『レトリック論を学ぶ人のために』（世界思想社，2007年6月）所収

2008年（平成20年）

・ <書評>角田幸彦『キケロー伝の試み ―キケローとその時代―』（北樹出版，2006年）

……『法制史研究』58号（2008年）

2009年（平成21年）

- ・ローマの「res publica」
……『法律時報』2009年2月号（2009年2月）
- ・判決文の表現 —レトリック理論を活用して—
……『表現研究』90号（2009年10月）

2013年（平成25年）

- ・「その他」並列「その他の」例示 —法令用語釈義 その1—
……『広島法科大学院論集』9号（2013年3月）
- ・市民法大全（Corpus Iuris Civilis）と引照
……『広島法学』37巻1号（2013年6月）

2014年（平成26年）

- ・憲法の条文見出し —法令用語釈義 その2—
……『広島法科大学院論集』10号（2014年3月）
- ・法律の改正と六法
……『往還ノート』（放送大学広島学習センター）213号（2014年8月）

2015年（平成27年）

- ・又は・若しくは・並びに・及び・かつ —法令用語釈義 その3—
……『広島法科大学院論集』11号（2015年3月）

2016年（平成28年）

- ・場合・とき・時・であって…もの —法令用語釈義 その4—
……『広島法科大学院論集』12号（2016年3月）
- ・A. カウフマンと第3の道
……『法理論をめぐる現代的諸問題 —法・道徳・文化の重層性—』（晃

洋書房, 2016年9月) 所収

2017年(平成29年)

- ・みなす・推定・準用・適用 —法令用語釈義 その5—
……『広島法科大学院論集』13号(2017年3月)

2018年(平成30年)

- ・をいう・という・含む・除く・限る —法令用語釈義 その6—
……『広島法科大学院論集』14号(2018年3月)(本号)

〈記事その他〉

- ・新作上方落語「講義根問(ねどい)」
……第29回合同学部祭パンフレット(広島大学法・経済学部合同学部
祭実行委員会, 1984年11月)
- ・履修コース制 —広島大学—
……『月刊法学教室』61号(1985年10月)
- ・こんな学生には単位を出したくない!! —教官かく語りき
……『生協だより』13号(広島大学消費生活協同組合, 1986年2月)
- ・本の開く世界へ! —教官による読書への誘い
……『生協だより』19号(広島大学消費生活協同組合, 1987年4月)
- ・おもしろ主義と生協だより
……『生協だより』21号(広島大学消費生活協同組合, 1987年7月)
- ・教養的教育の新しい試み「法学入門—授業改革の多彩な試み」
……『広大フォーラム』No.330(1996年9月)
- ・実社会と法学部「法学部卒業生による連続講演形式の授業」
……『広大フォーラム』No.335(1997年4月)
- ・学部の個性と大学改革

- ……『コリーグ』（広島大学附属大学教育センター）No.26（1997年11月）
- ・チュービンゲン大学 ―世界の大学シリーズ 34
 - ……『広大フォーラム』 No.340（1997年12月）
- ・21世紀の法学教育を考える
 - ……『広大フォーラム』 No.355（1999年12月）
- ・広島における法科大学院構想
 - ……『広大フォーラム』 No.362（2001年2月）
- ・広島大学に法科大学院を
 - ……『広大フォーラム』 No.372（2002年10月）
- ・これで単位はわかったぞ
 - ……『広大フォーラム』 No.375（2003年4月）
- ・広大のユニーク先生
 - ……『広大フォーラム』 No.376（2003年6月）
- ・広島大学法科大学院，設置申請を行う
 - ……『広大フォーラム』 No.377（2003年8月）
- ・法科大学院適性試験を実施
 - ……『広大フォーラム』 No.378（2003年10月）
- ・法科大学院，設置認可される
 - ……『広大フォーラム』 No.380（2004年2月）
- ・さらば『広大フォーラム』「特集はこうしてできあがる」
 - ……『広大フォーラム』 No.385（2004年12月）
- ・最後の広報委員からのお別れ
 - ……『広大フォーラム』 No.386（2005年2月）
- ・気楽な読書
 - ……放送大学広島同窓会『同窓会報 視聴 協調 飛翔』第33号（2017年3月）